

いいたて
なりわい
REPORT
vol.17



日帰り入浴の利用が増加中。岩盤浴も人気。



広々として安らぎが感じられる本館の客室。



入浴施設に併設の軽食堂やまぼうし。



日帰り入浴の受付。季節の壁面装飾で歓迎。



お客様のくつろぎの時間を大切に。笑顔あふれる癒しの宿
宿泊体験館きこり(一般財団法人飯館村振興公社)



笑顔のフロント。右が支配人の清水亘さん。

村民の森あいの沢の美しい景観の中に建つ『宿泊体験館きこり』。令和5年にリニューアルした本館客室の他、離れ客室、隣接する農業研修館さらりの客室にも宿泊ができます(さらりを農業研修で利用する場

合は事前申請により費用の補助が受けられます)。この秋、震災以降休止していた食事の提供を再開しました。食事付き宿泊プランはもとより、昼食休憩や会合、法要での利用も増えているそうです。「お膳料理以外にも、お客様の人数やご希望に合わせて、ビュッフェスタイルの大皿料理などにも対応しています」と支配人の清水さん。「ステーキなどの別注料理やお子様メニューも提供できるよう、引き続き厨房スタッフとメニューを考案中です」。クリスマスシーズンに合で利用する団体からは手作りケーキのオーダーも受け

ているそう。「皆さんにゆったり過ごしてほしいですね。心が落ち着く癒やされる宿でありたいです」。日帰り入浴や岩盤浴の利用も増加していて、お得な入浴パスポートの発行もスタートしました。フロントを担当する山田律子さん(上の写真左)は「支配人をはじめスタッフは楽しくやさしい人ばかり。笑いが絶えない職場です」と言います。山田さんはお客様とのコミュニケーションも大切にしているそう。スタッフの皆さんの笑顔と丁寧な仕事、心のこもったおもてなしが、きこりの居心地のよさを支えています。

宿泊体験館きこり
飯館村深谷字市沢166-6
☎0244-42-1012
(電話受付:午前9時~午後6時)



きこりHP

※求人については直接施設
にお問い合わせください。

左の写真は取材日に勤務をしていた厨房スタッフの皆さん。村出身の調理師・山田竜也さん(中央)は「ふるさとの食材を生かし、地元の皆さんにも喜んでいただける料理を考えていきたい」と工夫を凝らしてメニュー開発に取り組めます。

歴史の散歩道

飯館村10大ニュース

村民の投票で決定

『飯館村10大ニュース』は、飯館村の1年間のできごとを振り返り、村民の投票でトップ10を決める恒例行事。第1回の昭和63年から中断なく、これまでに37回実施されています。年末に投票が行われ、投票結果は新春のイベントで発表されてきました。それは東日本大震災により全村避難となった期間にも継続され、離れ離れに避難した村民が会場に集い、過ぎし1年を振り返る貴重な機会となりました。その後、コロナ禍によりイベントの開催が見送られたことをきっかけに、令和2年からは動画配信サイト・YouTubeの飯館村公式チャンネルで、発表が行われるようになりました。新春イベントの司会役にならない、

役場の若手職員が動画のMCを務め、画像や映像を交えて10大ニュースを紹介しています。10大ニュースをさらに15年分、10年分とまとめた冊子も2度にわたって発行されました。また、村が50周年を迎えた平成18年には、50年分の10大ニュースの投票も行われました。現在は広報紙の郵送に同封する形で、年末に投票用紙が配付され、投票は、公共施設に設置する投票ボックスへの投函もしくは返信用封筒での返送で行っています。昨年は初めてオンラインでの投票も実施しました。今年もぜひ、多くの方の投票をお願いします。皆で令和7年を振り返りましょう！



全村避難中の平成25年、パルセいいざか(福島市)で行われた「村民ふれあい集会」での発表風景。



全戸に配られる投票用紙。候補の50項目(裏面)から10のニュースを選びます。(写真は令和6年版)

ふれ愛館だより

交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。

ご利用をおまちしています
交流センター「ふれ愛館」の2階には、絵本がたくさんあります。11月には「きらきらぴかぴか」やアンパンマンの本など、幼児向けの図書を購入しました。お子さん、お孫さんと、もちろん大人の方も!!ぜひお越しください。

本の配布を行っています

公民館図書として使命を終えた本や、蔵書にならなかった本などを交流センターのロビーで配布しています。気になった本があればお持ち帰りください。



絵本のかくれ家

今年もたくさんの方々に交流センターを利用させていただきました。ありがとうございました。来年もよろしくお願いします。